

令和5年（2023年）6月那覇市議会定例会

一般質問発言通告書（4日目）

令和5年6月26日（月）

※1人当たり15分間（答弁を除く）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
1	普久原 朝日 (立憲なは) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 道路行政について 2 障がい者福祉について 3 動物行政について 4 生活困窮者への支援について 5 放課後児童クラブ（学童保育）について	(1) おもろまち駅前（真嘉比側）に放置された自動車の現状及び対応について伺う (2) 安里地域の道路補修に関する要望書について 手話通訳者派遣事業の概要と現状について伺う 人と猫との共生に関する施策及びなはねこサポーター制度について ホームレス（路上生活者）の方々等への重点支援給付金について 那覇市において放課後児童クラブ（学童保育）への支援及び待機児童対策について
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（４日目） 令和５年６月２６日（月）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	前 泊 美 紀 (無所属の会) 質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	1 第５次那覇市総合計画の中間見直し及び検証について 2 環境と防災・災害時の対応について 3 環境と経済・観光について 4 外国ルーツの子ども受入れ体制について 5 e スポーツの可能性について	第５次総合計画の中間見直し及び検討にあたり、那覇市総合計画審議会から、この５年間の大きな変化として平和問題があることの指摘があった。所管する総務部及び市の見解を問う 再生可能エネルギーの普及や蓄電による電源確保など、フェーズフリーで活用できるエネルギービジョンをどう描いているか。また、それは、現在策定中の第３次環境基本計画に反映されているか サンゴにダメージを与える成分を含む日焼け止めのビーチでの使用や販売を禁止するなど、海洋汚染への対応が、世界で広がってきている (１) 沖縄県及び本市の波の上ビーチでは、どのように対応しているか。現状と課題を問う (２) 環境に配慮した日焼け止めなどの商品の製造や普及啓発への支援について問う (３) それらは、現在策定中の第３次環境基本計画に反映されているか (１) 学校の年間行事や各種お知らせの文書は、どのように対応しているか (２) 学齢相当の子ども数の把握、日本語指導が必要な児童生徒数と受入れ体制について問う 本県本市におけるeスポーツの経済効果と、不登校や引きこもり支援の可能性について、本市の見解を問う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（４日目） 令和５年６月２６日（月）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	幸 地 わかえ (公 明 党) 質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	1 生活保護受給世帯におけるクーラー設置について 2 本市関係団体の人員増について 3 放課後児童クラブについて 4 新型コロナ感染者への支援について	今定例会代表質問において、「現在、生活保護を受給中で、一歳の子どもを持つ母子世帯の方が、引っ越し先においてクーラーがない環境で、母子共に熱中症を発症、母親はアトピー性皮膚炎等で全身、皮膚が赤く熱を持っている状態。クーラーを買う資金的ゆとりがないが支援できないか」との質問をしたところ、本市においては「クーラーの補助等については、国の通知などに従って対応している」との答弁であった。本案件に対して、保護課で支援の対象にならなかった理由と、対象でない理由を窓口で明確に伝えないのは何故か、伺う 那覇市社会福祉協議会、那覇市母子寡婦福祉会、那覇市地域包括支援センターについて、人員増を要望する声がある。早急に現状を確認し人員増を要望する、見解を伺う 放課後児童クラブの申込周知方法について、令和５年２月定例会一般質問において確認したところ、各児童クラブのホームページに掲載及びチラシの配布、また、本市ホームページにより周知しているとの答弁であった。保護者の方より、「仕事をしている為、ホームページ等を確認する時間も無く、入所を希望していた児童クラブが申込受付をすでに終了していた。周知方法を再検討してはどうか」との苦情があった。例えば、小学校の入学説明会のご案内に、チラシを同封する等といった工夫を行ってはどうか、見解を伺う 令和４年６月定例会一般質問において、市内の小規模事業者がコロナ陽性、または濃厚接触者になり、やむなく仕事を休むことになった場合の支援について要望した。その時点では、直接的な支援制度はなかったが、現状を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		5 メタバースの活用について	本市において、教育、福祉、観光、また、地域の活性化等の分野で、メタバースを活用した事業を展開してはどうか、見解を伺う
		6 キャッシュレス決済導入について	本市におけるキャッシュレス決済について、現状を伺う
		7 小禄支所の駐車場増設について	小禄地域振興会事務局より、「駐車場が少ないため、平日の会議室利用を控えるように言われているが増設できないか」と相談を受けた。見解を伺う
		8 ともかぜ振興会館の整備等について	ともかぜ振興会館を利用している市民の方から、「会館内の多目的ホールの出入口の段差で転ぶ人を見かけるから、バリアフリーにしてほしい。また、併せて、自動販売機と公衆電話を設置してほしい」との要望がある。見解を伺う
		9 末吉宮の参道整備について	令和5年3月8日に、本市文化財課の担当者とともに、末吉宮の参道の危険箇所を確認するために現場を視察した。危険箇所の整備について、修繕するとの事だったが、その後の進捗を伺う
		10 鏡原地域の歩道整備について	令和4年5月24日付けで、「鏡原地域等の避難経路と安全対策確保に向けた歩行者専用道路の新設整備について」の陳情が提出されている。令和5年3月末に、関係者の方より、是非とも歩道設置に向けてお願いしたいと、相談を受けた。見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（４日目） 令和５年６月２６日（月）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	大 城 幼 子 (公 明 党)	1 健康行政について	「日本骨髄バンク」が一昨年に設立 30 年を迎えた。これまでに実施できた非血縁者間の移植は 2 万 6,000 件を超えているが、移植を望みながらも受けられない患者は少なからず存在する。こうした患者をなくすため、骨髄を提供するドナーが採取の際に仕事を休めるようにするドナー休暇制度があるが、この制度がない環境にあるドナーを支援するため、本市は 2018（平成 30）年に県内で初めて「那覇市骨髄移植等ドナー助成事業」を導入した 以下伺う (1) 同事業の意義と概要および実績 (2) 全国および沖縄県の登録者数と提供者数 (3) 学生が入通院で欠席しても成績評価に影響しない「公欠制度」について
		2 障がい者就労支援について	(1) 障がい者福祉サービスにおける就労支援の現状を伺う (2) ヘルスキーパー（企業内理療師）の概要を伺う
		3 ふるさと納税について	ふるさと納税を活用して市内の動物愛護団体を支援する仕組みを作れないか見解を伺う
		4 道路行政について	(1) 東町 7 号の歩道整備を伺う (2) 西新緑地の歩道の改善について伺う (3) 岡野地域の市道から環状 2 号線（県道 82 号線）に車両が左折する際に、県道を横断する歩行者を守るため、車両の減速を促す対策がとれないか、対応を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

質問方式
総括質問方式
(質問席のみ)

一般質問（４日目） 令和５年６月２６日（月）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	坂 井 浩 二 (自 由 民 主)	1 伝統文化の継承について 2 文化スポーツ教育行政について 3 安全安心なまちづくりについて 4 パーク P F I 導入について 5 子育て行政について	旗頭は、那覇を発祥の地とするとても大切な伝統文化である。学校教職員の負担軽減が叫ばれる中、伝統文化を活用した青少年健全育成事業として毎年開催されている「旗頭フェスタ」の今後の開催とあり方について、本市はどのようなビジョンをお持ちか 学校教職員の負担軽減に伴う部活動の地域（民間）移行について、本市はどのような施策を講じていくのか また、移行を推進していく中で、子ども達の県外派遣補助事業は継続して実施されていくのか今後の方策を伺う 牧志公設市場及び周辺商店街における飲酒等を伴う迷惑行為等の対策として本市が講じてきた方策と効果の有無について伺う また市場エリア内における交番設置を提案しているが、その後の進捗状況はどうなっているか (1) 漫湖公園及び新都心公園へのパーク P F I 導入の意義と今後のスケジュール・期間について (2) 事業者選定後、魅力あふれる公園を形成していくためにも、選定事業者の新たな視点を取り入れるべく協議の場を設置すべきと考えるが当局の見解を伺う (1) 父親の子育てへの関わり方を更に推進すべく、日本初の父親の子育て支援団体として全国で活動を展開する N P O 法人ファザリング・ジャパン主催の全国フォーラム沖縄大会を本市で開催する意義について伺う

質問方式
総括質問方式
(質問席のみ)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(2) 経済的な事情でベビーミルクを確保できない母子を支援する団体「共育ステーション つむぎ」から市長及び本市議会へ「特定妊産婦指定の促進」と「ベビーミルク支援」について陳情書及び 239 名分の署名が提出されている。本市の現状と新たな支援体制構築について当局の今後の対応を伺う (3) 本市内に在住する若年妊娠・出産家庭の実情を本市はどのように把握しているか また、これまでの支援対策と課題について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（４日目） 令和５年６月２６日（月）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	我如古 一 郎 (日本共産党)	1 コロナ対策について	(1) コロナ感染者が増えている。全国と沖縄・本市の状況と課題を問う (2) 新たな流行とも言われる状況だが、介護施設、保育所などでクラスターが発生した場合、BCP（事業継続計画）でどのような対応になるのか (3) エッセンシャルワーカー(保育所・こども園、学童、介護施設、福祉施設、ゴミ収集関係など)の代替要員確保や感染症対策に対する、財政支援をすべきである。見解を問う
		2 少子化と雇用の在り方について	(1) 少子化対策で最も必要な支援は、子育てや教育での、お金の心配をなくすることが一番である。学生の４人に１人が平均３００万円の借金を背負わされているといわれている。大学などの授業料半額・入学金の廃止・奨学金は給付制にし、雇用の面では希望する人を正規職員にし、労働者の賃金を増やし、長時間労働をなくすことではないか、見解を問う (2) 国連の女性差別撤廃条約は結果の平等を求めており、その重要な指標が男女の賃金格差是正です。ジェンダー平等、人材確保という観点からも、非正規雇用の拡大状況をどのように認識しているか、見解を問う
		3 会計年度任用制度について	(1) 本市の会計年度任用制度で働く非正規の職員の数、全職員に占める比率、平均給与、本務職員の平均給与との差を問う (2) 会計年度任用職員の雇用を不安定にしている要因は、公募を経ない再度の任用の回数制限にある。行政は安定雇用の旗振り役を果たし、労働者の権利を守るべきである。総務省の指針でも柔軟に運用できるとしているが見解を問う

質問方式
一問一答方式
(質問席のみ)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 マイナンバーカードについて	19 日共同通信調査の報道で、健康保険証を廃止し、マイナンバーカードと一体化する、マイナ保険証は延期や撤回を求める世論が 72%もある。別人の情報と紐付けた事例が 7,300 件も判明し、病院窓口で保険診療ができない事例も相次いでいる。来秋の保険証廃止は白紙に戻し、徹底的に議論すべきである。少なくとも紙の保険証を存続するよう政府に求めるべきである。見解を問う
		5 道路・交通行政について	(1) 観光地であり、交通の要衝でもある識名園前の十字路が大雨で冠水する。排水路の拡張など改善すべきではないか。対応を問う (2) 識名霊園地域の清明祭時のバスの運行について、バス迂回運行の案内が周知されていない。ただ紙切れを張り付けて、破れている。観光客が困惑する場面があった。見解を問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（４日目） 令和５年６月２６日（月）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	清 水 磨 男 (ニ ラ イ)	1 地域行政について	(1) 那覇市は、青少年の健全育成の一環として重要な役割を担っているボーイスカウトの活動を高く評価していると過去に答弁している そうであれば、その取組に対する支援も当然行うべきだと考えるが、那覇市の考えを伺う (2) 県道 29 号線の渋滞箇所の把握と対応について伺う
		2 命に関わる行政について	(1) 那覇市のアポーションケアへの取組状況を伺う (2) 知念市長は、産業医未配置の違法状態について、当時の副市長として、そういう認識はございませんでした、と答弁しているが、それではいつ認識したのか伺う (3) 那覇市霊園条例の第 6 条、使用資格の要件に、焼骨を所持していることとある 関連する箇所があればそれも含め、改正することで火葬後にしか使用許可の申請が出来ない現状から、その前に申請を行うことができるようになり、市民の利便性が高まるとの指摘もあるが、那覇市の考えを伺う (4) 犬猫の刑務所における里親プログラムの導入について、那覇市の考えを伺う
		3 文化行政について	(1) クローン文化財、スーパークローン文化財、ハイパー文化財への那覇市の考えを伺う (2) いわゆるプロとされるスポーツチームや団体などで、那覇市を本拠地に行っているのはどこがあるのか伺う

質問方式
総括質問方式
(質問席のみ)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(3) 南京虫被害が報じられ、実際に心配の声も寄せられている 那覇市にとって観光や経済への影響が懸念されるが、那覇市の実情と対策を伺う (4) 「なはの日」の位置付けと取組を伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（４日目） 令和５年６月２６日（月）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	糸 数 昌 洋 (公 明 党)	1 中心商店街 の振興について	迷惑行為の解決に向けたプロジェクトチーム の活動状況と改善の進捗を問う
	質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	2 観光振興に ついて	那覇市観光協会の果たす役割と現在の活動状 況を問う
		3 市民行政に ついて	(1) マイナンバーカードを利用したコンビニ 交付の利用状況を問う (2) マイナンバーカード交付通知書発送後、カ ードを受け取っていない市民への対応につ いて問う
		4 住宅行政に ついて	各地で、幼い子どもがマンションのベランダや 窓から転落し亡くなる事故が相次いでいる。本市 の民間及び公営住宅における事故防止への対応 を問う
		5 教育行政に ついて	修学旅行先での有料施設利用の際に引率教員 が自己負担となることについて、保護者の皆さま から、公費で負担できないのかとの声があるが見 解を問う
		6 不発弾処理 について	「耐爆容器」の導入について見解を問う
		7 公園行政に ついて	(1) 城岳公園の整備の進捗状況と課題を問う (2) 中央公園の管理事務所を地域自治会等で 活用したいとの要望があるが見解を問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（４日目） 令和５年６月２６日（月）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
9	古 堅 茂 治 (日本共産党)	1 政治姿勢について	(１) 議長室で上下水道用地の所有権を一方的に主張する関係者から対策費ともいわれる5,000万円の金銭授受があったことが市民に大きな衝撃を与え、怒りと不信、真相究明を求める声が上がっている。日本共産党は100条委員会設置を求めている。どのような口利きがおこなわれたのか、カネ等が当局や議員への働きかけ等に使われなかったのかなど、事の真相を明らかにするのは前議長と議会、当局の責務であり、警察にもその役割の発揮が求められている。見解を問う (２) 知念覚市長候補の選挙運動期間中に特定の政治活動を行うことを認められた政治団体の名称と役員名簿を問う (３) 土地区画整理事業で本市の法令違反が最高裁判所で確定したのにもかかわらず、本市が法令解釈ミスで30年余も苦しめてきた当事者に最高責任者の市長が直接謝罪をしないのは著しいモラル欠如で世間の常識、人の道にも反する。市長の見解を問う
		2 第三セクターについて	2022年度の包括外部監査「出資団体および財政的援助団体に係る財務事務の執行について」での指摘への見解を問う
		3 平和教育について	私は、昨年６月定例会で、平和教育をしっかり位置づけている広島市、長崎市、糸満市の教育大綱を示し、市長部局策定の教育大綱（那覇市の教育及び文化の振興に関する大綱）には平和教育の位置づけ、構えが全くないことと、教育委員会策定の教育振興基本計画に平和教育の構えが弱いことを指摘して見直しを求めた。その後の当局の取組について問う
		4 歴史文化資源の保全・整備・活用について	(１) 本市の最高峰にして、琉球王国時代には国王の健康や国家安穩の祈願など、国家的な祭祀を行う重要な聖地で、県指定史跡「弁ヶ

質問方式
一問一答方式
(質問席のみ)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			嶽」(べんがだけ)が 2018 年に国指定史跡「弁之御嶽」(びんぬうたき)並びに国指定名勝「アマミクヌムイ」に追加指定された。同史跡の整備に向けた取組を問う (2) 那覇市歴史博物館は、「王朝文化と都市(まち)の歴史」をメインテーマに、国宝 1,292 点、琉球国王尚家の伝世品をはじめ、首里・那覇にゆかりのある方々からいただいた文書や美術工芸品をとおして、那覇の歴史・文化を紹介している。その那覇市歴史博物館のデジタルミュージアムについて、沖縄の時代と世代をつなぐカルチャーマガジン「モモト」52 号で高く評価されている。県内の先駆けとなる那覇市歴史博物館のデジタルミュージアムの果たしている役割、取組と課題を問う (3) 首里・那覇の古地図の文化的価値について問う
		5 公園の整備の推進について	本市の公園行政の最大の課題は公園面積が少ないことにある。公募設置管理制度 (P a r k - P F I) の導入で公園面積を増やすことはできない。公園行政の最大の評価指標である人口一人当たりの公園面積の本市、県内、全国の現状を問う
		6 首里石嶺町 4 丁目の浸水対策について	私は 10 年前の 2013 年 6 月 17 日の定例会一般質問で、首里石嶺町 4 丁目の住宅街で常態化している浸水写真と日本共産党のアンケートに寄せられた市民の「行政も、議員も、全く頼りにならない・・・」との憤りの声を自らの反省を込めて紹介し、浸水解消対策を求めた。当時の翁長雄志市長や下水道担当部署の頑張りで着手した浸水被害軽減雨水貯留施設建設事業が完成へ近づいている。高く評価する。進捗状況を問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、上下水道事業管理者、関係部長